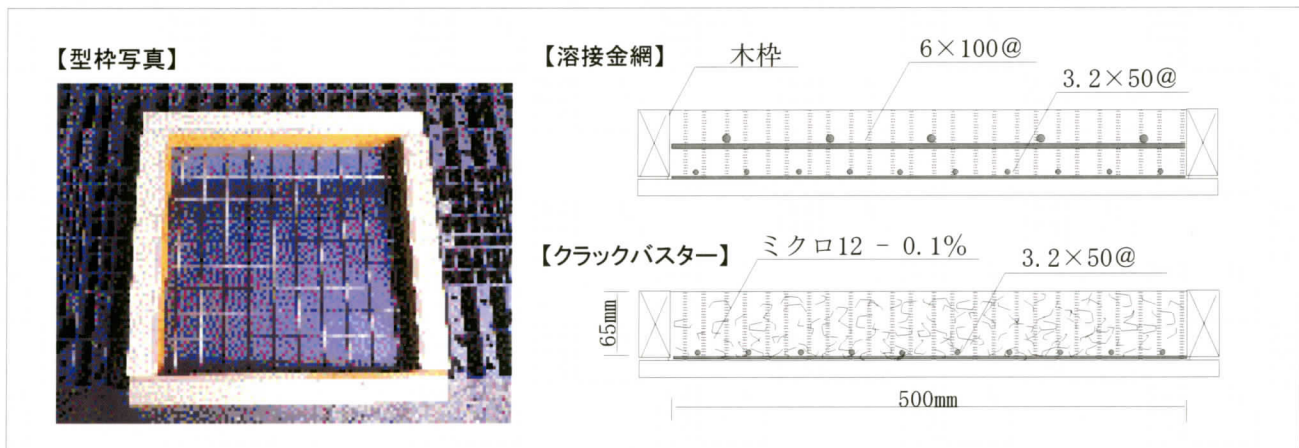


溶接金網の代用と ひび割れ抑制効果

平板状供試体による表面のひび割れ比較試験

- | | | |
|----------|------------------------|--|
| 1 使用繊維 | クラックバスター
繊維長
混入量 | マイクロ
12mm
0.1vol% (0.91kg/m ³) |
| 2 溶接金網 | 仕様 | 6mm @100 (拘束用 3.2mm @50) |
| 3 コンクリート | 配合 | セメント 9.8kg
水 4.9kg w/c=50%
砂利 9.8kg
砂 9.8kg s/a=50%
(打設後コンクリート温度 33°C) |
| 4 供試体 | 寸法 | 横50cm × 縦50cm × 厚さ6.5cm |



5 ひび割れの状況

	ひび割れ幅 (mm)	本数	のべ長さ (cm)	長さ低減率
溶接金網	~0.04	23	165	
クラックバスター	~0.04	14	71	57.00%

6 まとめ

ひび割れの80%前後は初期の段階で発生している。
 プラスチックひび割れについては、溶接金網と同等以上の効果があるといえる。
 長期の乾燥収縮に対する効果はこの試験からは読み取れない。
 表面が繊維補強されているので、耐磨耗性も向上するといわれている。